

# ぴーちっこ

発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
 聖友乳児院（乳児院）  
 聖友学園（児童養護施設）

聖友ホーム応援団 聖友ホーム ささえ隊 会員募集中!

『ささえ隊』について詳しくは HP またはチラシをご覧ください



## 乳児院初 2クラス合同外出、大成功！ はじめてのイモほり遠足

昨年10月29日（土）、乳児院のいちご組ともも組がイモほり遠足に行きました（子ども14名、職員約20名参加）。

はじめて2クラス合同によるお出かけです。

貸し切りの大型バスに乗って、小平の『サニー農園へ』！ そのようすをご報告します。



### おイモも、体験も、収穫いっぱい！

毎年、園庭にさつま芋を埋めて“にわか畑”をしつらえて行っていたイモほり。昨秋は子どもたちにホンモノを体験させてあげようと、イモほり遠足を計画・実施しました。イモほり遠足がはじめてなら、クラスの垣根を越えた合同外出もはじめての試みです。

当日は朝9時半に大型バスに乗り込み出発！ バスの中では、紙芝居や手遊びなどのレクレーションを用意し、子どもたちが酔ったり飽きたりしないよう工夫しました。

10時半、農園に到着。いざ畑にくり出すと、汚れるのを嫌がって土にふれるまで時間がかかる子、汚れなどまったく気にせずひとりで10個以上ゲットする子などさまざま。立派に育った大きなおイモを、全員で約120本収穫しました。（もちろん、翌日の食事やおやつでおいしくいただきました）

農園をあとにして、午後1時頃、都立小金井公園に到着！ 人工芝でできたハリ山でハリ遊びをしたり、大道芸人さんのパフォーマンスを観たりして楽しみました。“人生初の大道芸”には、子どもたちもクギづけ。約20分も集中して観ていたのには驚きでした。

午後3時頃、無事に帰着。体験という収穫も、おいしいおイモの収穫もいっぱい、充実の一日となりました。

### 今後は、お泊まり外出も！

入念な準備のかいもあって、はじめての2クラス合同遠足は大成功！ 今後も、子どもたちがいろいろな経験を積めるよう、さまざまな活動を企画し、実施していきたいと思います。

現在、泊まりがけでのお出かけ“宿泊活動”に向けて、養育委員会でマニュアルを作成中です。どうぞご期待ください。



お昼は、農園の広場でランチタイム。戸外で、みんなで食べるお弁当の味はやっぱり格別！ おかずには、給食調理職員のはからいで、ふかし芋が！ きっとみんな、いつになくおイモをしみじみ味わったことでしょう。



初！ 2クラス合同の集合写真。



# '16 ~ '17 秋冬の行事いろいろ

## 七五三

晴れ着を選んでからというもの七五三をとても楽しみにしていた M ちゃん (7 歳)。当日は、ボランティアさんに着付けを、高校 2 年生の H ちゃんにヘア&メイクをしてもらい大満足! 写真撮影では、カメラマンの指示にちゃんと応じることができ、おほめの言葉をいただきました。そのあと、園長や職員、妹と阿佐谷の神明宮へお参りに。道中いろいろな人に「可愛いね」と声をかけられ、やや照れながらも「ありがとう」と応えていました。



## 老人ホーム 慰問



11 月 23 日 ( 勤労感謝の日 )、杉並区内のとある高齢者施設に、学園の子どもたち (6 名) と職員が伺いました。居室や風呂場など施設内を見学させていただいたあとは、折り紙をしながら交流。子どもたちの折り紙作品に、入居者のかたも笑顔を見せてくださいました。

## クリスマス会 ( 乳児院 )

12 月 25 日、乳児院の子どもたちと保護者・里親さんが参加して開催されたクリスマス会。華やかに飾られたクリスマス会場で、新人職員やボランティアさんによる出しものを観たり、サンタさん ( 院長 & 事務職員 ) からプレゼントをもらって記念撮影をしたり、楽しいひとときを過ごしました。



## 大掃除 ( 学園 )

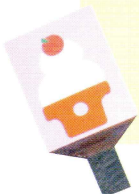


毎年 12 月 26 日に行なわれる恒例行事・大掃除。学園の各ホームでは、子どもたちと職員が協力して一年間の汚れを一掃します。畳の部屋の荷物や家具をすべてフローリングの部屋へ移したあと、畳を上げてベランダで天日干し。畳の下になる床には掃除機をかけて、新聞紙も交換。

最近ではめずらしい畳上げの光景も、聖友学園では年末の風物詩となっており、すがすがしく新年を迎えています。

## 書きぞめ ( 乳児院 )

お正月に行われた書きぞめ。もも組さんは本格的に大きな条幅紙を使ってチャレンジ! いちご組さんはピーマン、たまねぎ、大根などを輪切りにした野菜のスタンプをプラス。見事な筆運びで、大人にはとても真似できない数々のアート作品 ( ? ) が完成! 1 月 ~ 2 月、乳児院の廊下の壁に全作品が展示され、ご覧になった方々から感嘆の声が上がっていました。



第3回

委員会活動紹介 ———— 学園・乳児院は、共に7つの委員会を設けています。 ————

それぞれの委員会に全職員が関わり様々な活動をしています。  
今回は学園の進路専門委員会、乳児院の研修委員会をご紹介します。

委 員 会	
学 園	●育成 ●余暇 ● <b>進路</b> ●保健 ●防災防犯 ●地域交流 ●リスクマネジメント
乳児院	●養育 ●看護 ● <b>研修</b> ●お楽しみ実行 ●防犯防災 ●地域交流 ●リスクマネジメント

進路専門委員会

進路専門委員会は、「子どもが自信と誇りを持って社会で自立できるよう、必要な学力や知識を身につけさせると共に、関係機関とも協力しながら進路選択への支援やアフターケアを実施すること」を目的としています。活動の柱は、

① 進路支援

学年に添った進路説明会、外部機関を活用して自立について考えるセミナー、不登校児支援などを実施。

② 幼稚園・学校との連携

幼稚園や学校と「連絡協議会」を開き、子どもや保護者の状況・職員の取り組み・学校や幼稚園からの要望などについてまとめた資料をもとに話し合いを実施。幼稚園や学校の先生との良い情報共有の場となっています。

③ 情報発信

今年度から新たに始まった活動のひとつ。おもに、支援の記録が「PDCAサイクル(事業活動において管理業務を円滑に進める手法)」に沿って記入されているかホーム側の検証を受け、進路専門委員会で再検討するなど、情報処理のアップデートを図っています。

このような活動をもとに、「この子には、どのような進路が適しているのか」より良い答えを導いていかなければなりません。が、「これをしたらこうなる」とすぐに結果がでるものではなく、正解もありません。それぞれ学力も個性も違うので、ケースバイ



自立支援セミナーにて。指示を受けて“ゆか座り”。

ケースの対応も必要です。

進路の選択は、各児童が必ず乗り越えなければならない壁だと思います。その壁を乗り越えられるよう職員

が手を尽くし、外部機関などとも連携しながら支援していきたいと思えます。

私達は、その子が育って行く過程の1ピースを担っているに過ぎないかもしれませんが、将来、卒園児が進路で悩んだときに、思い出して頼ってもらえる存在になれたらうれしいです。

研修委員会

研修委員会は、養育の質の向上や職員のスキルアップをめざして、さまざまな研修を計画しています。今年度は下記のとおり、3回の研修を実施しました。

① 健康管理の講習会

嘱託医を講師として、乳幼児の病気とその対応について学びました。病気の知識を得ることで、日々、子どもたちの体調の変化にも早めに気付くことができます。

② 他乳児院での養育体験(施設見学)

今年度は看護師さんの養育を体験。他の施設での体験は、自分たちの養育を見直す良い機会にもなります。

③ 院内研修

職員に内容を募集し、今年度は『ベビーマッサージ』の研修を実施。



ご指導は  
“チャイルドボディセラピスト”の先生



ベビーマッサージの勉強中。

どの研修も、日頃の養育に活かすことができる有意義な内容でした。これからも、より良い養育のための研修を計画していきたいと思えます。

## 地域の皆さまとともに ▶▶ 阿佐谷イベントにて

より地域に根ざした施設をめざして、聖友ホームではさまざまなイベントに参加させていただいております。  
 昨年秋も、地域の皆さまと楽しく交流させていただきました。

### 10/22 学園のホールが ライブ会場に! 阿佐谷ジャズストリート

昨年22回目を迎えた『阿佐谷ジャズストリート』に聖友ホームが初参加! 学園のホールをライブ会場にして、プロのシンガー&ギタリストによるジャズライブ、アフリカン太鼓のパフォーマンスなど、バラエティに富んだ音楽をお届けしました。お子さま連れファミリー、ジャズ好きの紳士・ご婦人をはじめ、乳児院の子どもたちも来場。楽器の音色や素敵な歌声に耳を傾けていました。ちなみに、来年の阿佐谷ジャズストリートにも参加の予定。どうぞご期待ください。



### 11/15 やっぱりおいしい! つきだてのお餅 餅つき(ゆうやけ市)

聖友ホームに一番近い商店会“交友会”が主催する『ゆうやけ市』にフリーマーケットで参加したほか、日頃お世話になっている地域の皆さまに、つきだてのお餅をふるまいました。つき手は給食の調理職員、石臼と杵を使った本格的な餅つきです。子どもたちは、お餅ができたがっていくよゆうすを興味深そうにながめ、皆さまと一緒にペロリと平らげました。



### 11/13~29 乳児院の塀が ストリートギャラリーに! 笑顔 エガオ え〜がお写真展

阿佐谷北エリアの活性化を目的として活動されている『ケヤキッス』が企画した写真展の会場に、聖友ホームの白塀をご活用いただきました。個人商店と地域住民がもっと親密になるようにと願いをこめて撮られ、展示された、商店主さんたちの笑顔あふれる写真の数々。このようなイベントを通じて、地域のコミュニケーションがさらに活発になりますように。



## 「ありがとうございました」 平成28年10月~平成29年1月(敬称略)

〈寄附金〉(株)プロコーチジャパン、石井昌宏、東和開発(株)、佐藤國雄、(株)タイスケ、樋口恵子、(株)日配運輸、糟谷健一、三宅幹雄、新渡戸文化こども園、(株)住宅王、堀郁子、小田切雅子、ユークリッドミュージックエンターテイメント、淡路真太郎、大東京信用組合従業員組合、佐藤國雄、鎌田あすさ、株式会社工藝舎

〈寄附物品〉セカンドハーベスト・ジャパン、ほっともっと、全国シャンメリー協同組合、(株)トーハン従業員組合、日本鏡餅組合、毎日新聞東京社会事業団、吉田真理、(株)北村製作所、ヤマザキ製パン従業員組合杉並支部、一般社団法人東京馬主協会、新井哲也、フィリップモリスジャパン、公益社、原みさ子、(株)アパマンショップネットワーク、ワールドメイト、(株)メリーチョコレートカンパニー、(株)ラムラ、(株)豆魚雷 岡島和嗣、リコリ ジンセイ、伊達直人、落合勉、中央花壇、門司一徹、石田和重、有限会社宮崎紙工舎、恵田晴美、鹿野裕子、舘田武・澄子、岡崎真木子、日本ベビーフード協議会、有限会社アーバンライフ、白鞘慧海、東交観光バス株式会社営業部、鈴木志帆子、Helen Ann、金村心平、桜香純子

〈バースデープレゼント〉早水良子、嵯峨久美子、佐藤美弥子、武村明子、佐々木昭祐、二宮徳子、糟谷健一、清水敦子、朝倉良江

〈招待〉ハンズオン東京(イベント)、タッタタ探検組合/岡田茂(観劇)

※そのほか匿名で様々な寄附をいただきました。ありがとうございました。

## 編集後記

28年度は、近年のNew Face 職員や委員会活動を連載でご紹介してきました。来年度も又、新鮮な情報を発信してまいりたいと思います。ご意見・ご質問などがありましたら、下記のEメールアドレスまでお願いします。



発行 社会福祉法人

**聖友ホーム**

聖友乳児院(乳児院) 聖友学園(児童養護施設) 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール sasaetai@seiyuhomu.or.jp ホームページ <http://www.seiyuhomu.or.jp/>